

台風土砂災害で被災した墓石を復旧 ゼネコン指導で安全意識をさらに強化

建墓工事専門 カタノ石材(有)

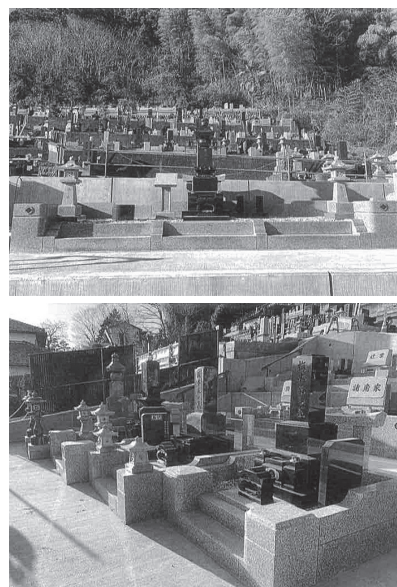
安心・安全の建墓工事を提供するカタノ石材(有)（片野隼人社長）が二〇二〇年から参加していた「中央自動車道 八王子管内のり面災害復旧工事」（元請＝鹿島建設(株)、石工事元請＝(株)高橋石材店、二〇二〇年七月号詳報）での墓地復旧工事が

完了した。令和元年東日本台風で、隣接する山の斜面が崩落して一部に甚大な土砂災害を受けた寺院墓地が見事に再生した。

二期では新たに造成された墓地への各墓石の復元工事（約三十基の再施工・清掃等）を手がけた。もともと「施工標準書」を策定し、高品質の墓石施工を追求する同社の経験、実績が存分に生かされた。



被災当初の墓地(2019年10月撮影)

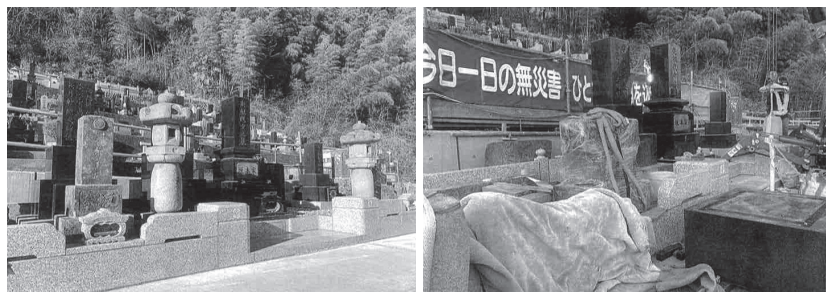


井上さん(右)と向井さん

「上2点」このたび復旧した墓地のようす。山の斜面の墓地で、一〇〇、三〇〇㎡の大型墓所もある

かにスムーズに効率よく作業を進行し、かつ地震対策など強度的にも安心な施工を心がけました。正確さや丁寧さは普段の施工と同じですが、お施主様は一度、倒壊等を経験されていますから、その想いに応えられるよう、心を込めて建て直しています」

今年一月から約二カ月間、連日三人一組で現場入りした向井哲哲さん（職長）は、同じく現場担当のベテラン職人・井上和浩さんとともにそう話す。すでに接着剤で施工されている墓石ばかりで、その解体や接着剤の除去など難しい作業もあったが、今回の復旧工事を通して、「特に鹿島建設様の指導によるハイレベルな安全対策、KY（危険予知）活動はとても勉強になり、安全意識がさらに高まった。普段の仕事にも反映させたい」と、二人は口を揃えている。



新設された墓地に一時保管所へ移設・解体・清掃・養生等していた墓石を建て直した。右は施工途中、左は施工後。古い石塔や灯籠なども復元した

そもそも同社は建設業許可、産業廃棄物収集運搬業許可を取得する他、現場作業に不可欠な移動式クレーン・玉掛け・職長免許など

の取得、また車両・重機の定期点検など、法令遵守に務めているからこそ、このプロジェクトに参加できたわけだが、今回はスーパージェネコンの一社・鹿島建設の指導で、「不整地運搬車運転」の資格も取得（ハンドガイド式は資格不要。また毎日徹底して行なわれる、作業前の危険予知とその対策、作業後の報告の義務も「徹底していて感心させられた」という。

「建墓工事専門でも、小売店様、お施主様のために安心・安全を追求するのは責務。そのためにはコストもかかりますが、業界全体でさらなる安全意識の向上が必要ではないかと改めて思います」

同社・片野由次会長は今回の復旧工事を振り返ってそう話す。次世代へ石材業をつなぐためにも、先進的な他業種の例になりたい。お問い合わせは下記広告へ。

<http://www.katanosekizai.co.jp/>

建墓の職人魂。

建墓工事は
全国どこでも
ご相談ください
お気軽にお問合せを！

私たちは、建墓工事専門業者です。
生かすのは、その機動力、技術力、そして他社にはない安全性。
墓石製品のお預かりから引き渡し、産業廃棄物の収集運搬まで、
お施主様にご満足いただける建墓工事をお約束いたします。

カタノ石材 有限会社 (社)全国石材施工協会・会員
TEL 042-763-3228 神奈川県相模原市中央区田名2112-1 FAX 042-761-3093